

## 関西地域間産業連関表による域際取引構造の分析

稲田 義久  
入江 啓彰

### 1. はじめに

関西では、経済の地盤沈下が長らく続いている<sup>1)</sup>。『県民経済計算』によれば、全国に占める関西の経済シェアは、1970年度の19.3%をピークとして下がり続け、2011年度には15.6%にまで低下した。2000年代の実質 GRP 平均成長率は、関東 0.89%、中部 1.17% に対して、関西では 0.46% にとどまっている。日本全体の 0.76% をも下回る成長率である。

では、この関西経済の低迷を府県別に寄与度分解するとどうであろうか。最も GRP シェアの大きい県は大阪府であり、関西経済の約半分を占めている。しかし、大阪府の 2000 年代の平均実質 GRP 成長率は +0.0% と 2 府 4 県のうちで最も低くなっており、関西経済の成長に対する貢献は +0.01% ポイントにとどまっている。2000 年代の関西経済の成長に最も貢献しているのは京都府で、+0.16% ポイントである。また滋賀県は、経済規模では関西内で大阪府・兵庫県・京都府に次ぐ 4 番手であるが、平均実質 GRP 成長率は関西内の府県の中で最も高い +1.88% である。

大阪府は関西地域において、この先経済的地位を失っていくのだろうか。また関西経済は大阪府の停滞に合わせて今後は衰退していくのでだろうか。この点について、本稿では関西内各府県、特に大阪府と滋賀県の域際取引構造に着目して検討する。滋賀県に着目するのは、前述したように経済成長率が最も高いというだけでなく、入江 (2013b) でも示したように、経済規模に対する対外取引規模が関西の府県の中で最も高いという特徴を持つためである。

本稿では、関西 2 府 5 県 (福井県含む) の域際

収支について、アジア太平洋研究所によって開発された「2005 年版関西地域間産業連関表」により検討する<sup>2)</sup>。筆者は、入江 (2013b) で域際収支を取り扱った先行研究を整理した上で、関西地域産業連関表の 1 部門表、12 部門表により関西内各府県の交易構造について確認した。また大阪府については 104 部門表による域際収支も示した。そこで本稿では、大阪府以外の府県についても 104 部門表を用いた詳細な収支表を示す。次に、1 部門表を用いて、各県の対外取引規模と域際収支の概要をみた上で、大阪府と滋賀県の域際取引構造について検討することとする。

### 2. 関西内各府県の域際収支の特徴

まずここでは関西地域間産業連関表を分析ツールとして用い「域際黒字」を中心に、関西内各府県の交易構造について検討する。域際収支とは「国際収支の地域経済版」というべきものである。国際収支が輸出から輸入を控除して求められるのと同様に、域際収支は移輸出から移輸入を控除して求められる。「域際黒字」は、他地域に対する移出が他地域からの移入より多いということを示す。移入が移出より多い場合は「域際赤字」となる。ここで、ある地域のある産業が域際黒字であるということは、地域内の需要を満たした上でさらに他地域の需要もまかなうことができる、ということの意味しており、当該地域において「強み」となる産業と言うことができる。入江 (2013b) では、大阪府についてのみ 104 部門表による域際収支を示したが、以下では関西の各府県について同様の計測を行った結果を示す。なお後掲の参考表 1 には、全 104 部門の結果を掲載してある。

**(1) 福井県**

福井県の域際収支は1,220億円の黒字である。福井県では、2005年時点で原子力発電所が稼働していたため、他地域との経済取引においては電力部門が中心であった。仮に電力部門の収支がゼロであったとすると、福井県の域際収支は4,262億円の赤字となる。電力部門を除くと、製造業の各種部門の黒字が大きい。滋賀県、京都府、大阪府に対しては域際黒字上位10産業のうち電力以外はすべて製造業である。特に他地域の加工組立型産業に対してコンデンサなどの部品を供給していることから、その他の電子部品や半導体素子・集積回路といった部門が上位となっている。また伝統的地場産業である繊維工業製品の黒字も大きい。

**(2) 滋賀県**

滋賀県の域際収支は、136億円の赤字である。また滋賀県の主力産業である製造業に限れば、1兆7,114億円の黒字である。黒字の大きい部門は、民生用電気機器、自動車、プラスチック製品、電子計算機・同付属装置といった加工組立型産業を中心に多岐にわたっている。一方赤字の大きい部門としては銑鉄・粗鋼や石油製品が挙げられる。

なお産業連関表で域内生産額に占める製造業の比率をみると、滋賀県は52.2%と高い。滋賀県を除く関西2府4県は同29.8%と3割に満たない。また2005年度の県民経済計算によると、県内総生産に占める第2次産業比率は、滋賀県が全都道府県の中で最も高い。

**(3) 京都府**

京都府の域際収支は3,583億円の赤字である。黒字の最も大きい産業は飼料・有機質肥料・たばこであるが、これは京都市内に日本たばこ産業関西工場があるため、この部門の生産額は関西内府県のうち京都府が最も大きい。また有力企業が多数存在する精密機械部門の生産額も関西内では京都府が最大となっており、こうした京都に固有の産業が域際黒字を生み出している。また、第3次産業でも「観光都市」である京都府らしくサービス業を中心に黒字となっている部門が多い。ここでも京都独自の特徴が現れているといえる。

**(4) 大阪府**

大阪府の域際収支は3兆6,003億円の黒字である。入江（2013b）でも指摘したように、大阪府の産業構造は関西の中で他府県と大きく異なっている。大きな特徴は、域際黒字の大部分を商業が生み出しているという点である。また関西内他府県に対しては、物品賃貸サービス、広告、運輸付帯サービスといった企業向けのサービス業の黒字が大きい。製造業ではその他の金属製品、特殊産業機械、その他の電気機器といった加工組立型産業を中心に黒字となっている。

**(5) 兵庫県**

兵庫県の域際収支は1兆3,422億円の赤字で、これは関西内府県の中で最も大きい赤字額である。兵庫県の域際黒字を生み出しているのは、製造業が中心である。兵庫県全体の収支で見れば、域際黒字上位10産業すべてが製造業である。関西内では、特に大阪府との取引関係が強く、銑鉄・粗鋼、産業用電気機器、食料品など多くの製造業の部門で兵庫県の黒字となっている。

**(6) 奈良県**

奈良県の域際収支は1兆1,549億円の赤字である。域際黒字上位10産業には製造業の各部門が並んでいるが、海外に対する半導体素子・集積回路部門の1,358億円の黒字を除けば、総じて黒字幅は小さい。奈良県では交通アクセスの利便性に欠ける、海岸に面していないといった地理的なハンディキャップから、大規模な工場を立地することができない。そのため製造業で「強み」となるような部門がない。また奈良県は京都府と並んで多くの歴史遺産を有しているが、宿泊業などサービス業でも黒字を生み出すことができていない。

**(7) 和歌山県**

和歌山県の域際収支は1,979億円の赤字である。部門別にみると、和歌山県で県内生産額が最も大きい部門は銑鉄・粗鋼部門であり、収支でも3,742億円と最大の黒字を生み出している。この他にも、石油製品部門や化学最終製品（除医薬品）部門などが大きな黒字となっている。これらの基礎素材

型産業の有力企業が県北部の海岸沿いに工業地帯を形成しており、和歌山県経済に大きく貢献しているといえる。域際赤字をみると石炭・原油・天然ガス部門が4,099億円の赤字で最大である。このうち4,062億円が海外からの輸入による赤字である。海外から原材料を輸入し、関西内他府県に対して基礎素材型製品を供給するという和歌山県の経済取引構造が確認できる。

### 3. 関西内府県間の域際取引構造

次に、府県間の域際取引構造について1部門表を用いて見てみる。表1は、関西内府県間の域際取引規模と域際収支をあわせて見たものである。域際取引規模は、移出額と移入額の絶対値を加えて算出する。以下で府県間の組合せを表記する際には、総務省の都道府県コードが小さい府県が前になるように記す。

域際取引規模でみると、大阪府-兵庫県間が最も多く、7兆9,207億円にのぼる。以下、京都府-大阪府間(2兆7,290億円)、滋賀県-大阪府間(2兆3,364億円)、大阪府-奈良県間(1兆4,701億円)、大阪府-和歌山県間(1兆1,361億円)と大

阪府対関西内各府県の取引規模が上位に並んでいる。また域際収支の絶対額をみると、大阪府-兵庫県間(大阪府の6,732億円の赤字)、滋賀県-大阪府間(大阪府の5,673億円の黒字)、大阪府-奈良県間(大阪府の3,360億円の黒字)が大きくなっており、関西の府県間取引が大阪府を中心とする構造になっていることがうかがえる。また福井県は、滋賀県以外の各府県に対して黒字、奈良県が全ての府県に対して赤字になっている。

なお入江(2013b)でも指摘したように、県の経済規模(GRP)に対する域際取引規模は、関西内での取引、関西以外全国との取引とも、滋賀県が関西内では最も比率が高くなっている。滋賀県は交通の要地であり、大阪や京都にも中部圏にもアクセスが良く、県域を超えた取引が活発になっていると考えられる。また海外との取引については、各県とも大きな差異はないが、最も比率が高いのは和歌山県であった。

### 4. 域際収支から見た大阪府と滋賀県の関係

前節において、関西の域際取引構造においては大阪府が中心であること、また滋賀県が経済規模

表1 各県の相手地域別にみた域際取引構造(単位100万円)

	域際収支	域際取引規模
大阪-兵庫	-673.151	7,920.682
京都-大阪	179.883	2,728.973
滋賀-大阪	-567.282	2,336.381
大阪-奈良	336.044	1,470.088
大阪-和歌山	-84.510	1,136.077
京都-兵庫	130.718	1,047.442
滋賀-京都	-133.877	893.085
滋賀-兵庫	663	688.611
福井-大阪	225.538	600.952
福井-滋賀	-71.141	432.208
兵庫-和歌山	10.843	375.910
兵庫-奈良	81.127	362.804
京都-奈良	43.745	346.297
福井-兵庫	128.713	307.763
福井-京都	75.432	227.683
滋賀-奈良	24.252	147.564
奈良-和歌山	-68.020	101.708
京都-和歌山	-7.891	84.767
滋賀-和歌山	-38.289	74.039
福井-奈良	38.085	65.410
福井-和歌山	9.313	39.449

(注) 域際収支は、左側に記載した府県からみた収支を示している。

(出所) アジア太平洋研究所(2012)『2005年版関西地域間産業連関表』より筆者作成

に比して域際取引規模が大きいことを示した。そこで本節では大阪府と滋賀県について細かく検討した上で、滋賀県－大阪府間の域際取引構造について詳細に見ていく。なお表2・表3は大阪府と滋賀県について、地域別の域際黒字上位産業をそれぞれ示したものである。

#### 4-1 大阪府の域際取引構造

大阪府の域際収支は3兆6,003億円の黒字である。これは国内他地域からの5兆2,959億円の黒字によるところが大きく、関西内他府県に対しては2,597億円の赤字、また海外に対しても1兆4,359億円の赤字である。産業部門別に収支構造を見ると、大阪府の産業構造は関西の中で他府県と大きく異なっていることがわかる。大きな特徴は、域際黒字の大部分を商業が生み出しているという点である。また関西内他府県に対しては、物品賃貸サービス、広告、運輸付帯サービスといった企業向けのサービス業の黒字が大きい。製造業ではその他の金属製品、特殊産業機械、その他の電気機器といった加工組立型産業を中心に国内他地域や海外に対して黒字となっている。また、ある地域

に対しては域際黒字上位であるが、別の地域に対しては域際赤字上位に入っている、という産業部門がある。例えば鉄鉄・粗鋼部門は、福井県・滋賀県・京都府・奈良県・国内他地域に対しては域際黒字上位10産業に入っている一方で、兵庫県・和歌山県に対しては両県とも域際赤字の最大部門となっている。関西内で地域別に分業構造の形成を確認することができる。

#### 4-2 滋賀県の域際取引構造

滋賀県の域際収支は、関西内と関西以外で大きく傾向が異なっている。関西内他府県に対しては6,434億円の赤字であり、特に大阪府に対しては5,673億円の赤字である。一方、国内他地域に対しては2,730億円の黒字、海外に対しては3,568億円の黒字である。これらを合算すると滋賀県合計では136億円の赤字となる。また滋賀県の主力産業である製造業に限れば、1兆7,114億円の黒字である。内訳は大阪府に対して3,488億円の赤字、大阪府以外の関西内他府県に対して1,372億円の黒字、国内他地域に対しては1兆4,979億円の黒字、海外に対しては4,246億円の黒字である。

表2 地域別にみた大阪府の域際黒字上位産業（単位100万円）

福井		滋賀		京都		
1	不動産仲介及び賃貸	21,256	医薬品	151,378	商業	245,894
2	道路輸送	20,728	一般産業機械	147,608	不動産仲介及び賃貸	70,483
3	その他の金属製品	14,809	特殊産業機械	137,995	鉄鉄・粗鋼	38,869
4	金融・保険	14,135	商業	114,116	ガス・熱供給	37,459
5	商業	9,468	化学最終製品(除医薬品)	76,742	石油製品	30,214
6	鉄鉄・粗鋼	8,946	非鉄金属加工製品	44,244	ゴム製品	28,961
7	映像・文字情報制作	6,564	鉄鉄・粗鋼	41,954	道路輸送	25,388
8	物品賃貸サービス	5,595	ガス・熱供給	41,860	運輸付帯サービス	12,570
9	広告	4,834	不動産仲介及び賃貸	31,501	医薬品	11,590
10	その他の対事業所サービス	3,950	無機化学基礎製品	27,898	その他の製造工業製品	8,775

兵庫		奈良		和歌山		関西内		
1	不動産仲介及び賃貸	150,184	商業	107,590	商業	64,213	商業	596,264
2	石油製品	96,781	飲食店	69,598	石油製品	48,338	不動産仲介及び賃貸	273,657
3	印刷・製版・製本	87,288	医薬品	64,822	道路輸送	35,900	医薬品	229,499
4	ガス・熱供給	81,572	化学最終製品(除医薬品)	36,929	ガス・熱供給	30,631	ガス・熱供給	218,554
5	飲食店	57,375	道路輸送	32,789	その他の金属製品	14,019	石油製品	197,929
6	非鉄金属加工製品	55,265	ガス・熱供給	27,033	飲食店	11,006	道路輸送	136,348
7	商業	54,984	その他の電気機器	21,826	自動車	9,861	非鉄金属加工製品	99,354
8	映像・文字情報制作	36,991	鉄鉄・粗鋼	20,194	有機化学製品	9,478	映像・文字情報制作	78,057
9	物品賃貸サービス	36,325	金融・保険	19,712	広告	7,933	物品賃貸サービス	75,621
10	広告	33,740	石油製品	18,749	鉄道輸送	7,758	広告	73,340

国内他地域		海外		合計		
1	商業	3,856,530	商業	1,102,089	商業	5,554,883
2	物品賃貸サービス	524,900	特殊産業機械	177,158	物品賃貸サービス	615,068
3	その他の金属製品	491,459	水運	87,069	その他の金属製品	544,047
4	プラスチック製品	310,315	一般産業機械	62,728	特殊産業機械	315,413
5	その他の電気機器	245,710	その他の電気機器	48,604	広告	308,495
6	広告	238,855	民生用電子機器	47,514	その他の電気機器	304,793
7	その他の一般機器	235,485	航空輸送	44,014	一般産業機械	298,754
8	鉄鉄・粗鋼	224,541	その他の一般機器	42,695	その他の一般機器	280,340
9	一般産業機械	213,797	運輸付帯サービス	42,579	運輸付帯サービス	231,035
10	その他の電子部品	201,024	道路輸送	37,679	医薬品	218,740

(出所) アジア太平洋研究所 (2012) 『2005年版関西地域間産業連関表』より筆者作成

関西地域間産業連関表による域際取引構造の分析

表 3 地域別にみた滋賀県の域際黒字上位産業（単位 100 万円）

福井		京都		大阪		
1	一般産業機械	65.801	飲料	41.061	民生用電気機器	126.892
2	特殊産業機械	56.307	セメント・セメント製品	38.266	自動車	59.503
3	民生用電気機器	21.714	プラスチック製品	21.691	その他の電子部品	41.063
4	非鉄金属加工製品	9.778	自動車	19.696	電子計算機・同付属装置	31.057
5	精密機械	7.825	民生用電気機器	9.865	プラスチック製品	28.750
6	プラスチック製品	7.404	その他の製造工業製品	7.013	半導体素子・集積回路	22.621
7	電子計算機・同付属装置	5.062	医薬品	5.185	飲食店	17.395
8	道路輸送	4.187	繊維工業製品	3.964	産業用電気機器	16.789
9	その他の一般機器	3.723	化学最終製品(除医薬品)	3.755	飲料	16.346
10	事務用・サービス用機器	2.440	紙加工品	3.237	ガラス・ガラス製品	15.744

兵庫		奈良		和歌山		関西内		
1	一般産業機械	36.712	自動車	20.016	飲料	2,944	民生用電気機器	167,327
2	特殊産業機械	34.499	飲料	13.021	プラスチック製品	2,896	自動車	111,958
3	飲料	19.495	印刷・製版・製本	11.819	その他の製造工業製品	704	飲料	85,805
4	非鉄金属加工製品	15.356	飲食店	4.503	一般産業機械	702	プラスチック製品	54,306
5	民生用電気機器	11.911	教育	3.291	特殊産業機械	685	電子計算機・同付属装置	39,039
6	自動車	11.097	その他の公共サービス	1.822	陶磁器	677	セメント・セメント製品	34,287
7	ガラス・ガラス製品	7.781	その他の輸送機械	976	自動車	617	ガラス・ガラス製品	26,112
8	その他の公共サービス	5.853	陶磁器	887	社会保障	428	教育	24,232
9	プラスチック製品	5.729	家具・装飾品	794	医薬品	384	精密機械	23,478
10	飲食店	5.217	その他の産業・土石製品	740	飲食店	308	その他の製造工業製品	21,380

国内他地域		海外		合計		
1	プラスチック製品	226.442	特殊産業機械	152.496	民生用電気機器	402.478
2	民生用電気機器	209.149	ガラス・ガラス製品	108.981	自動車	317.438
3	医薬品	144.412	一般産業機械	103.782	プラスチック製品	300.979
4	一般産業機械	138.339	その他の電子部品	82.650	一般産業機械	190.050
5	自動車	133.474	自動車	72.006	ガラス・ガラス製品	188.589
6	化学最終製品(除医薬品)	114.363	その他の一般機器	27.487	特殊産業機械	182.295
7	特殊産業機械	88.883	民生用電気機器	26.002	その他の電子部品	113.738
8	その他の製造工業製品	77.225	その他の輸送機械	21.509	飲料	112.993
9	建設・建築用金属製品	76.909	商業	20.480	その他の製造工業製品	83.818
10	その他の金属製品	73.411	化学最終製品(除医薬品)	20.322	建設・建築用金属製品	80.138

(出所) アジア太平洋研究所 (2012) 『2005 年版関西地域間産業連関表』より筆者作成

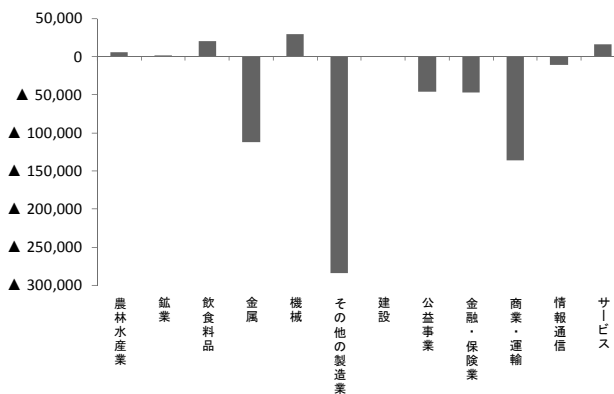
黒字の大きい部門は、民生用電気機器、自動車、プラスチック製品、電子計算機・同付属装置といった加工組立型産業を中心に多岐にわたっている。一方赤字の大きい部門としては鉄鉄・粗鋼や石油製品が挙げられる。滋賀県は港湾を持たないといった地理的条件から重厚長大型産業の工場集積がないため、こうした製品を他地域から購入し、県内で加工・組み立てた製品を他地域に供給するという構造になっていることがうかがえる。また第3

次産業は、奈良県を除く全ての地域に対して赤字である。

4-3 滋賀県と大阪府の域際取引構造

次に、滋賀県－大阪府間の域際取引構造を見ていく。図1は12部門表による滋賀県からみた大阪府に対する域際収支をグラフにしたものである。また表4は、104部門表による滋賀県からみた大阪府の域際収支の上位産業を示したものである。

図 1 滋賀県－大阪府間の域際収支（12部門表、単位 100 万円）



(出所) アジア太平洋研究所 (2012) 『2005 年版関西地域間産業連関表』より筆者作成

表4 滋賀県からみた対大阪府の域際収支上位産業（単位 100 万円）

黒字上位産業		赤字上位産業	
民生用電気機器	126,892	医薬品	▲ 151,378
自動車	59,503	一般産業機械	▲ 147,608
その他の電子部品	41,063	特殊産業機械	▲ 137,995
電子計算機・同付属装置	31,057	商業	▲ 114,116
プラスチック製品	28,750	化学最終製品(除医薬品)	▲ 76,742
半導体素子・集積回路	22,621	非鉄金属加工製品	▲ 44,244
飲食店	17,395	鉄鉄・粗鋼	▲ 41,954
産業用電気機器	16,789	ガス・熱供給	▲ 41,860
飲料	16,346	不動産仲介及び賃貸	▲ 31,501
ガラス・ガラス製品	15,744	無機化学基礎製品	▲ 27,898

（出所）アジア太平洋研究所（2012）『2005年版関西地域間産業連関表』より筆者作成

表中の黒字上位産業は、反対に大阪府からみれば域際赤字の上位産業ということになる。なお後掲の参考表2に、104部門表による滋賀県－大阪府間の域際収支の詳細な結果を示した。

前節の大阪府・滋賀県の結果、および図1と表4から、以下のようなことが読み取れる。

- ・大阪府はほぼすべての地域に対して、商業や不動産仲介及び賃貸といった第3次産業での黒字が大きくなっているが、唯一滋賀県に対してのみ、医薬品、一般産業機械、特殊産業機械といった部門が黒字上位（滋賀県の赤字）となっている。
- ・滋賀県の域際黒字上位産業は、多くの地域に対して、ほとんどが製造業である。またその部門も民生用電気機器、自動車、飲料など多岐にわたっている。生産額だけでなく、域際収支からも滋賀県が製造業に特化した県であることがわかる。
- ・滋賀県と大阪府の域際取引は、収支の上位産業をみると製造業が中心である。大阪府から滋賀県に対しては機械や原材料が、滋賀県から大阪府に対しては電気機器や自動車など加工組立型の製品がそれぞれ黒字となっている。
- ・第3次産業については、ほとんどの部門で滋賀県の赤字となっているが、飲食店、宿泊業など対個人サービス部門については、滋賀県の黒字となっている。

## 5. むすび

ここまで、関西地域間産業連関表を用いて、関西内各府県の域際収支の計測を通じて、各県の強

みとなる産業について検討してきた。本稿では特に滋賀県と大阪府との関係に着目したが、関西経済を域際収支から見ると、分業構造の確立が確認でき、特に大阪府を軸とした構造になっている。

今後、関西における将来のリーディング産業の可能性を検討するにあたっての課題として、個々の産業・製品が府県間でどのような流れになっているかについて、大阪府と滋賀県以外の府県間の関係についても詳細な分析を行う必要がある。また経済センサスなど他の統計資料も用いて産業ごとの特徴を明らかにしていく必要もあると考える。

## 注

- 1) 関西経済の地盤沈下については、アジア太平洋研究所（2014）や根岸（2012）など、これまで数多くの研究が行われている。
- 2) 関西地域間産業連関表についてはアジア太平洋研究所（2012）、入江（2013a）で作表方法や概要を紹介している。また入江（2013a）は域際収支の概念も詳しく述べている。

## 参考文献

- アジア太平洋研究所（2012）『2005年関西地域間産業連関表の作成と活用』2011年度計量モデル研究会報告書
- アジア太平洋研究所（2014）『関西経済白書2014年版』入江啓彰（2013a）「関西地域間産業連関表による分析」（アジア太平洋研究所関西経済予測と関西経済構造分析研究会報告書第2章）
- 入江啓彰（2013b）「関西における地域間交易」『近畿大学短大論集』第46巻第1号、pp.15-26.
- 経済産業省経済産業政策局調査統計部（2010）『平成17年地域間産業連関表』



参考表2 滋賀県－大阪府間の域際収支（104部門表、単位100万円）

番号	部門名	収支	移出	移入	番号	部門名	収支	移出	移入
1	耕種農業	599	675	76	63	再生資源回収・加工処理	418	421	2
2	畜産	4,298	4,431	134	64	建築	0	0	0
3	農業サービス	120	120	0	65	建設補修	0	0	0
4	林業	26	26	1	66	公共事業	0	0	0
5	漁業	197	267	70	67	その他の土木建設	0	0	0
6	金属鉱物	0	0	0	68	電力	▲ 3,907	0	3,907
7	非金属鉱物	3	3	0	69	ガス・熱供給	▲ 41,860	0	41,860
8	石炭・原油・天然ガス	0	0	0	70	水道	0	0	0
9	食料品	3,345	54,412	51,068	71	廃棄物処理	0	0	0
10	飲料	16,346	20,777	4,431	72	商業	▲ 114,116	12,057	126,173
11	飼料・有機質肥料・たばこ	▲ 135	130	265	73	金融・保険	▲ 15,521	2,742	18,263
12	繊維工業製品	5,264	7,774	2,511	74	不動産仲介及び賃貸	▲ 31,501	0	31,501
13	衣服・その他の繊維既製品	4,975	12,445	7,471	75	住宅賃貸料	0	0	0
14	製材・木製品	252	252	0	76	鉄道輸送	▲ 2,971	949	3,920
15	家具・装飾品	▲ 12,740	6,512	19,252	77	道路輸送	▲ 14,303	2,931	17,234
16	パルプ・紙・板紙・加工紙	▲ 346	3,728	4,074	78	水運	0	0	0
17	紙加工品	▲ 3,041	6,078	9,119	79	航空輸送	0	0	0
18	印刷・製版・製本	▲ 25,469	1,624	27,093	80	貨物利用運送	▲ 940	523	1,463
19	化学肥料	▲ 411	35	446	81	倉庫	▲ 1,084	447	1,531
20	無機化学基礎製品	▲ 27,898	722	28,620	82	運輸付帯サービス	▲ 2,360	689	3,048
21	有機化学基礎製品	▲ 10,708	0	10,708	83	通信	▲ 2	6,144	6,146
22	有機化学製品	▲ 20,628	1,753	22,382	84	放送	0	0	0
23	合成樹脂	▲ 2,878	2,586	5,464	85	情報サービス	▲ 838	0	838
24	化学繊維	3,256	4,621	1,365	86	インターネット付随サービス	0	0	0
25	医薬品	▲ 151,378	42,193	193,572	87	映像・文字情報制作	▲ 10,474	939	11,413
26	化学最終製品(除医薬品)	▲ 76,742	33,554	110,296	88	公務	0	0	0
27	石油製品	▲ 3,820	210	4,030	89	教育	14,344	14,344	0
28	石炭製品	▲ 10,560	16	10,576	90	研究	1,326	1,918	592
29	プラスチック製品	28,750	48,133	19,383	91	医療・保健	▲ 4,048	1,315	5,363
30	ゴム製品	▲ 18,491	1,109	19,600	92	社会保障	3,108	3,108	0
31	なめし革・毛皮・同製品	▲ 1,107	150	1,256	93	介護	0	0	0
32	ガラス・ガラス製品	15,744	16,373	630	94	その他の公共サービス	6,729	7,868	1,139
33	セメント・セメント製品	973	973	0	95	広告	▲ 12,021	17	12,038
34	陶磁器	5,699	5,700	1	96	物品賃貸サービス	▲ 12,427	302	12,729
35	その他の窯業・土石製品	1,362	1,418	56	97	自動車・機械修理	▲ 4,721	121	4,841
36	鉄鉄・精鋼	▲ 41,954	6,586	48,540	98	その他の対事業所サービス	▲ 7,089	1,506	8,595
37	鑄造品	5,343	12,387	7,044	99	娯楽サービス	2,700	4,137	1,437
38	その他の鉄鋼製品	▲ 9,194	492	9,685	100	飲食店	17,395	29,264	11,869
39	非鉄金属鉄・精製	▲ 8,241	819	9,060	101	宿泊業	7,850	8,575	725
40	非鉄金属加工製品	▲ 44,244	6,218	50,461	102	その他の対個人サービス	2,589	3,108	520
41	建設・建築用金属製品	4,594	18,347	13,753	103	事務用品	0	0	0
42	その他の金属製品	▲ 19,139	19,964	39,104	104	分類不明	0	0	0
43	一般産業機械	▲ 147,608	13,953	161,562		(参考)非製造業計	▲ 228,964	108,948	327,429
44	特殊産業機械	▲ 137,995	12,456	150,451		全産業計	▲ 567,282	884,549	1,451,832
45	その他の一般機器	1,558	2,035	476					
46	事務用・サービス用機器	1,253	1,333	80					
47	産業用電気機器	16,789	22,471	5,682					
48	電子応用装置・電気計測器	1,695	2,785	1,090					
49	その他の電気機器	3,040	17,152	14,112					
50	民生用電気機器	126,892	136,243	9,350					
51	民生用電子機器	▲ 2,996	525	3,522					
52	通信機械	▲ 3,169	846	4,015					
53	電子計算機・同付属装置	31,057	31,686	629					
54	半導体素子・集積回路	22,621	22,696	74					
55	その他の電子部品	41,063	52,609	11,545					
56	自動車	59,503	79,066	19,562					
57	船舶・同修理	1,660	1,692	33					
58	鉄道車両・同修理	621	705	84					
59	航空機・同修理	▲ 8	0	8					
60	その他の輸送機械	▲ 641	4,167	4,807					
61	精密機械	13,826	13,884	58					
62	その他の製造工業製品	15,257	21,205	5,947					
	(参考)製造業計	▲ 348,802	775,601	1,124,403					

(出所) アジア太平洋研究所(2012)『2005年版関西地域間産業連関表』より筆者作成